

オープンイノベーションHub「エンレイソウ」の開所式を開催

～大学と地域・社会を繋ぎオープンイノベーションを創出する「場」を新設～

【概要】

北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」は、札幌キャンパスのほぼ中心（札幌市北区北11条西8丁目）に位置する施設であり、平成7年の建設以降、1階のレストラン（令和2年3月閉店）やギャラリー、2階の会議室が、本学の教育研究や福利厚生に活用されてきました。

この「エンレイソウ」を改修し、北海道大学の研究者、学生等と他大学、自治体、企業等の内外のステークホルダーが自由に意見交換し、社会課題や地域課題の解決に向けた新たなアイデアを生み出す「場」として、10月2日（月）付けでオープンイノベーションHub「エンレイソウ」を設置します。

【趣旨】

北海道大学では、社会との共創を重視し、研究成果の創出や社会実装、地域と世界の将来を見据えた課題解決を推し進めることで、持続可能な発展や Well-being の実現に貢献することを目標としています。オープンイノベーションHub「エンレイソウ」はこの目標を達成する一助となる施設で、コンセプトは「オープンイノベーションを創出する『場』」です。

今後この「場」を活用し、①大学と地域・社会を繋ぎ産学官金の連携を強化すること、②学生と企業・自治体等を結び交流やスタートアップを支援すること、③大学の情報発信、対外的なコミュニケーションの効果的な拠点とすることを推進してまいります。

オープンイノベーションHub「エンレイソウ」の施設は、様々な協業の「場」として、1階はモダンデザインの家具を配置し居心地の良いフリーデスクのコワーキングスペースと、スクリーン状の壁面3面に映像を投影できるプレゼンテーションラウンジ、2階は3室の貸会議室となります。コワーキングスペースは、用途に合わせレイアウトを変更でき、最大100名規模のイベントが可能で、企業・自治体等と研究者の打合せのほか、学生グループによる社会課題等の解決に向けた企画や活動、教員・学生向けの起業体験プログラム、ピッチコンテスト等による利用を予定しています。またプレゼンテーションラウンジは、2026年までの間、北海道大学創基150周年記念事業に係る情報発信等を行う、コミュニケーション活性化拠点「ENLIGHT」として利用します。

札幌キャンパスの中心部に、地元企業や自治体等の皆様が学生・教職員とともに集える場所を整備しましたので、皆様に広くご利用いただけるよう努めてまいります。

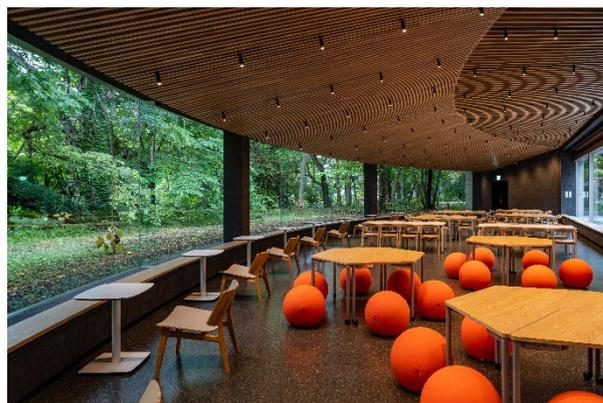
- 【日 程】** 2023年9月29日（金） 15時00分～15時30分
- 【場 所】** 北海道大学オープンイノベーションハブ「エンレイソウ」（旧ファカルティハウス「エンレイソウ」）（札幌市北区北11条西8丁目）
札幌市営地下鉄南北線 北12条駅 下車徒歩11分
- 【出席者】** 国立大学法人北海道大学総長 寶金清博
国立大学法人北海道大学理事 行松泰弘
国立大学法人北海道大学理事 増田隆夫
大学院工学研究院 建築都市部門 空間デザイン分野
都市地域デザイン学教室 教授 瀬戸口剛

【プログラム(予定)】

- ① 開所式開会（15時00分開始）
- ② 出席者紹介
- ③ 挨拶（国立大学法人北海道大学総長 寶金清博）
- ④ テープカット・写真撮影
- ⑤ 施設内覧・「ENLIGHT」プロジェクションマッピング上映
- ⑥ 開所式閉会（15時30分終了見込）



エンレイソウ外観



メインラウンジ

お問い合わせ先

北海道大学社会共創部社会連携課（〒001-0021 札幌市北区北21条西11丁目）

T E L 011-706-9708 F A X 011-706-9607 メール s-collab@dpe.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp